

No.11 2025年2月9日

受難節前第五主日礼拝
説教『キリストから受ける慰めによって』

山根眞三 師
司会 神笠千愛さん
奏楽 栗原斗志子さん
招詞 マルコ福音書4章35～41節
主の祈 (564)
讚詠 5 4 6
交読詩編 詩18編1節～20節
祈禱
讚美歌 21-1 5 3
使徒信条 (566)
聖書 IIコリントの手紙1章8～11節
説教 (口語訳278頁、新共同訳325頁)

『キリストから受ける慰めによって』

祈禱
讚美歌 2 7 3 B
献金
感謝報告
報栄 5 4 2
祝禱
後奏

次週の礼拝(受難節前第三主日礼拝)
説教『神の委託に応えた歩みはどこに』
マタイ福音書20章1節～16節
招詞 ペリピ書2:12～13 / 交読詩篇18編
讚美歌546、21-472、338、543/21～51節

礼拝当番
今週 9日 司会 神笠さん 献金 吉丸さん
次週 16日 司会 市川さん 献金 剛家さん
会堂清掃奉仕 2月14日(金)
午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
★コーヒータイト 礼拝後～
それぞれの思いを語り合しましょう。
⑤広島西分区定例牧師会 午後4時～
会場：広島牛田教会
分区活動報告と計画、それぞれの報告
会終了後送別の食事が持たれます。

今週の集会/スケジュール

★2.11「建国記念の日」を問う広島集会 2月11日
(火)14:00～16:00 会場:カトリック会館
講演:「国際平和文化都市」の平和を考える
講師:湯浅正恵さん

めぐみ幼稚園礼拝 2月14日(金)10:30

次週以降のスケジュール等

●レコードコンサート 2月16日(日)13:00～15:30
プフィツナー 「パレストリーナ」より3つの前奏曲
モーツァルト 交響曲第四〇番短調K550
ブラームス 交響曲第四番ホ短調Op98

⑤広島拘置所教誨奉仕 2月19日(水)13:30～16:00
施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。

めぐみ幼稚園発表会 2月21日(金)10:00～11:30
子ども達の発表する姿に神様の祝福があるよう。

★聖書を読む会 2月25日(火)10:30～
黙示録を通して聖書を学びましょう

◎教会役員会報告 1. 教区月報によって教職謝儀、諸条件、退職慰労金について協議した。
2. 教会墓園について協議した。
3. 教区総会、教会総会、12月分会計報告を協議承認
●礼拝司会 2/16 市川さん、2/23 高橋さん、
3/2 根角さん、3/9 吉丸さん、3/16 神笠さん、

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	2	6	8

◇今週の説教要旨(受難節前第四主日礼拝)

『キリストから受ける慰めによって』IIコリント1章8～11節
使徒パウロは どうしてこんなに強いのだろうか。今私が感じる率直な疑問だ。パウロは自分がとても好きだったのだろうか。自分の抱えている問題にまたとても自覚的だったのだろうか。パウロは罪深い自分をキリスト者の迫害の時に深く覚えたのだろう。その時の描写が使徒行伝に示されるサウロの回心と言われる描写だ。彼はそこでキリストとの出会いを経験した。パウロにとってキリストと出会うことは自分の罪と同時にその赦しと豊かな愛に出会うことだったのだろう。キリストの愛に生かされているが故にパウロは強いのだろう。こんなパウロに出会うと、私はパウロのように自分の罪に出会ってはいないことを知らされる。パウロははっきりと語る。自分にはキリストの慰めと励ましがあり、それらによって他者を励まし、慰めることができるのだ。私はまさにパウロのその慰めと励ましに出会う喜びに生きたいと思うのだ。パウロはアジア州で出会った患難と表現されていることは使徒行伝19:21以下で描写されているアルテミス神殿に関わる出来事だったと考えられるが、そこで出会った出来事は、パウロにとって死の危険まで切迫したほどだった。しかしそのような厳しい死を覚悟しなければならない程の状況であったとしてもパウロはそこに死者を復活させて下さる神をたよりにすることが出来た。それは自分達が最悪死を迎えなければならないとしても死者を復活させる神が共におられるからだ。パウロのそのような行動、生き様はキリストを信じる人々に勇気と慰めを与えたのだ。キリストの十字架の死と復活の恵み、贖いを信じた人々にとって、そこに示される神の愛こそが人々を生かした。キリストの十字架の死と復活の出来事を信じる者にはどんな厳しい状況をも、キリストから受ける慰めを認めることが出来る。私たちは復活の神への信頼に生きる。